

第 1 回浪速区民モニター報告書

「多文化共生について」



平成 23 年 2 月

大阪市浪速区役所

【1】調査の概要

1. 調査の目的

浪速区では、区域に居住する外国人は地域社会を構成する「外国籍住民」であるとの観点から、多文化共生の地域コミュニティづくりを推進していくための施策を実施していますが、今後、新たな施策を検討するにあたって、ご参考にさせていただくために、アンケートを実施しました。

2. 調査の実施状況

調査期間：平成22年11月5日（金）～11月19日（金）

方 法：電子申請システム及び郵送

対 象：区民モニター登録者 231名

回 答 数：174名

回 答 率：75.3%

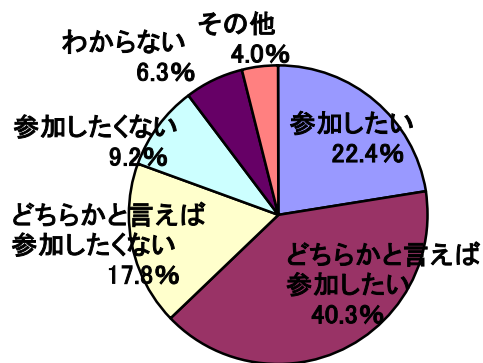
3. 区民モニター数及び回答者数

		区民モニター			回答者		
		男	女	計	男	女	計
計		94	137	231	68	106	174
年齢別	29歳以下	8	25	33	4	17	21
	30歳代	15	29	44	9	23	32
	40歳代	18	25	43	12	20	32
	50歳代	17	19	36	12	14	26
	60歳代	19	16	35	16	13	29
	70歳代	12	19	31	11	16	27
	80歳以上	5	4	9	4	3	7

【2】調査結果の分析

問 1. 日本人と外国籍住民が交流を図るイベント等に参加したいですか。

1. 参加したい	39
2. どちらかと言えば参加したい	70
3. どちらかと言えば参加したくない	31
4. 参加したくない	16
5. わからない	11
6. その他	7
回答者数	174



「6. その他」の具体的な内容（主なもの）

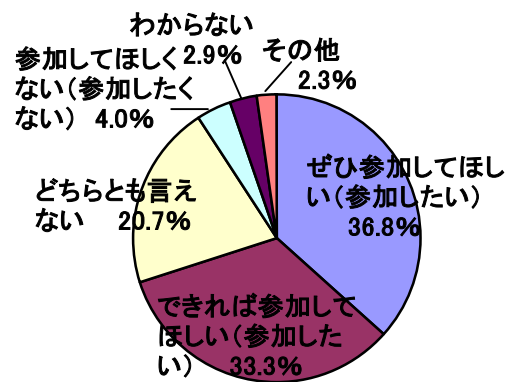
- ・ イベントの内容によっては、参加してもよい。
- ・ どんな外国人かによる。
- ・ わざわざ交流を図るイベント等と言わずに、普通に地域のイベントの中に折り込むなど、自然にする方がよい。

【全体的傾向】

交流を図るイベント等に参加したいかについては、「どちらかと言えば参加したい」が40.2%、「参加したい」が22.4%となっており、交流に対して肯定的な回答が6割強となっている。

問 2. 外国籍住民が地域行事に参加することをどう思いますか。

1. ぜひ参加してほしい（参加したい）	64
2. できれば参加してほしい（参加したい）	58
3. どちらとも言えない	36
4. 参加してほしくない（参加したくない）	7
5. わからない	5
6. その他	4
回答者数	174



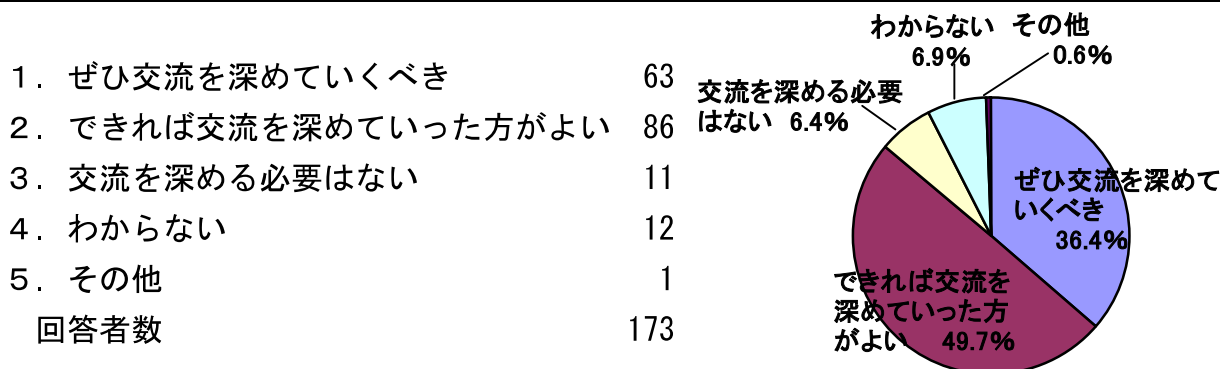
「6. その他」の具体的な内容（主なもの）

- ・ どんな外国人かによる。
- ・ 本人の自由だと思うが、もし参加をためらっているのであれば、誘ってあげてもいいのではないかな。

【全体的傾向】

外国籍住民が地域行事に参加することについては、「ぜひ参加してほしい（参加したい）」が36.8%、「できれば参加してほしい（参加したい）」が33.3%となっており、外国籍住民の参加に対して肯定的な回答が約7割となっている。

問3. 日本人と外国籍住民が交流を深めることをどう思いますか。



「5. その他」の具体的な内容

- ・どんな外国人かによる。

【全体的傾向】

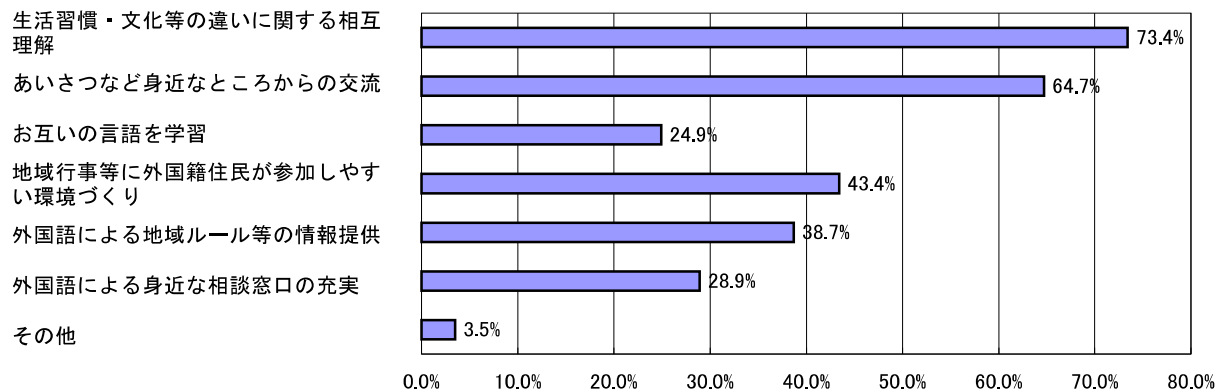
日本人と外国籍住民が交流を深めることについては、「できれば交流を深めていった方がよい」が49.7%、「ぜひ交流を深めていくべき」が36.4%となっており、交流を深めることに肯定的な回答が8割強となっている。

問4. 日本人と外国籍住民が理解しあうために必要なことは何ですか。（複数回答可）

1. 生活習慣・文化等の違いに関する相互理解	127
2. あいさつなど身近なところからの交流	112
3. お互いの言語を学習	43
4. 地域行事等に外国籍住民が参加しやすい環境づくり	75
5. 外国語による地域ルール等の情報提供	67
6. 外国語による身近な相談窓口の充実	50
7. その他	6
回答者数	173

「7. その他」の具体的な内容（主なもの）

- ・お互いの文化や考え方、主張を理解する（勝手なイメージ等を払拭）。
- ・交流場所と機会。
- ・理解する必要はない。



【全体的傾向】

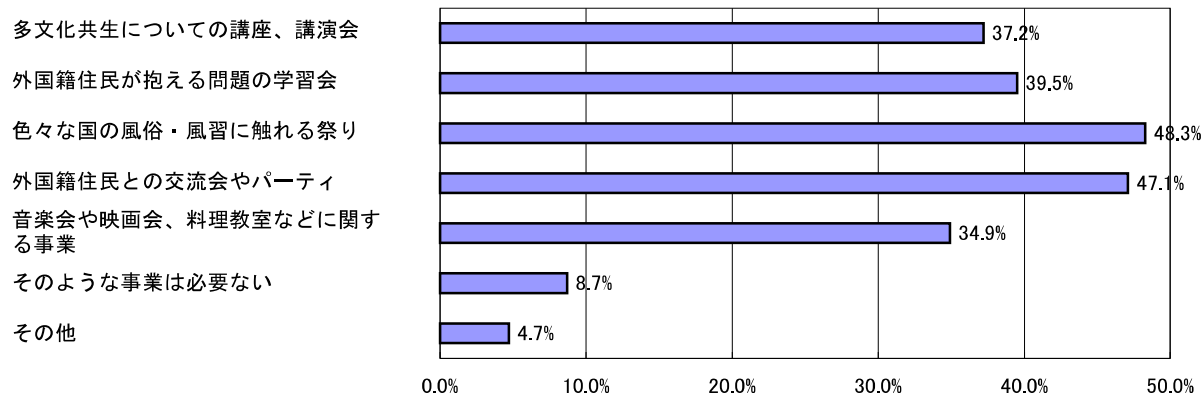
日本人と外国籍住民が理解しあうために必要なことについては、「生活習慣・文化等の違いに関する相互理解」が73.4%、「あいさつなど身近なところからの交流」が64.7%、「地域行事等に外国籍住民が参加しやすい環境づくり」が43.4%と続いている。

問5. 日本人と外国籍住民との相互理解のために必要な事業は何ですか。（複数回答可）

1. 多文化共生についての講座、講演会	64
2. 外国籍住民が抱える問題の学習会	68
3. 色々な国の風俗・風習に触れる祭り	83
4. 外国籍住民との交流会やパーティ	81
5. 音楽会や映画会、料理教室などに関する事業	60
6. そのような事業は必要ない	15
7. その他	8
回答者数	172

「7. その他」の具体的な内容（主なもの）

- ・外国の人に区の事業のアドバイザーとして参加してもらい、外国の人々の要望に応える事業を考える必要がある。
- ・地域の清掃ボランティアを多国籍で行うなど、何か共通の目的で集う。
- ・少しでも対等な立場で話し合えるように、お互いの国々の風俗・風習の良い面、又は因習とする面を出し合い、より良き方向へ持っていけるよう意思疎通を図る。
- ・特別に行事を増やす必要はないと思う。
- ・外国人として相手を意識しすぎるとぎこちなくなるのでは、と思う。
- ・文化・習慣の相互理解は出来ない。



【全体的傾向】

日本人と外国籍住民との相互理解のために必要な事業については、「色々な国の風俗・風習に触れる祭り」が48.3%、「外国籍住民との交流会やパーティ」が47.1%、「外国籍住民が抱える問題の学習会」が39.5%と続いている。一方で、「そのような事業は必要ない」との回答も8.7%あった。

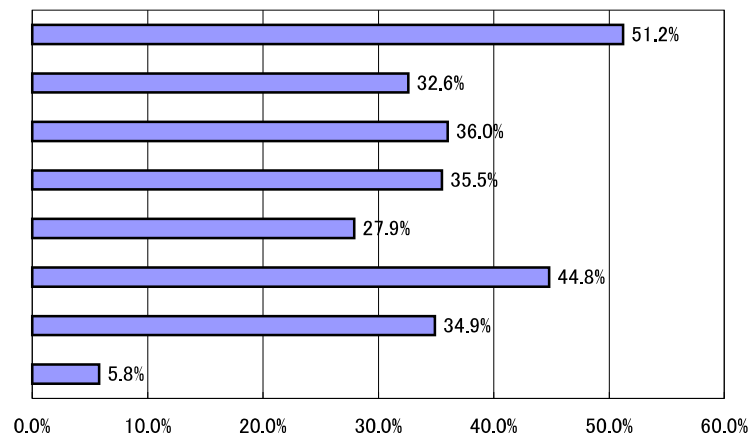
問6. 多文化共生を推進するため、区が力をいれるべき対応は何ですか。（複数回答可）

1. 日本人と外国籍住民との交流会やイベント	88
2. 日本人と外国籍住民との意見交換会・話し合い	56
3. 日本語の学習機会の提供	62
4. 多言語での行政情報や生活情報の提供	61
5. 多言語での生活相談	48
6. 生活情報や地域の習慣等について知ってもらうための情報等の提供	77
7. 学習場所や情報提供など、交流の拠点となる場所の提供	60
8. その他	10
回答者数	172

「8. その他」の具体的な内容（主なもの）

- ・地域コミュニティに求められる基本的な社会ルール。
- ・文化交流として、友好を結んでいる都市、区の方々の物品や絵画、作品等を役所で空いている会場で展示する。
- ・中華学校との交流をする等、青年層に広げた取組み。
- ・外国の生活習慣の区民だより等での紹介や、地域でのトラブル事例と対応策の紹介。
- ・基本的に本人たちが努力すべき。
- ・交流が必要だと思わない。

日本人と外国籍住民との交流会やイベント
日本人と外国籍住民との意見交換会・話し合い
日本語の学習機会の提供
多言語での行政情報や生活情報の提供
多言語での生活相談
生活情報や地域の習慣等について知ってもらうための情報等の提供
学習場所や情報提供など、交流の拠点となる場所の提供
その他

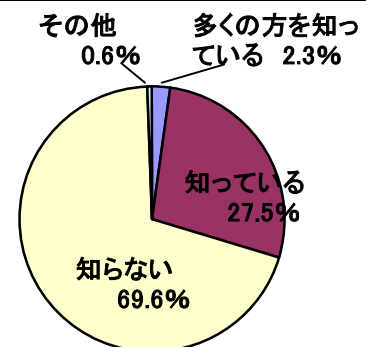


【全体的傾向】

多文化共生を推進するため、区が力を入れるべき対応については、「日本人と外国籍住民との交流会やイベント」が51.2%、「生活情報や地域の習慣等について知ってもらうための情報等の提供」が44.8%、「日本語の学習機会の提供」が36.0%と続いている。

問7. 日本人の方にお聞きします。お住まいの地域で活躍している外国籍住民を知っていますか。

1. 多くの方を知っている	4
2. 知っている	47
3. 知らない	119
4. その他	1
回答者数	171



「4. その他」の具体的な内容

- ・外国籍かどうかわからない。

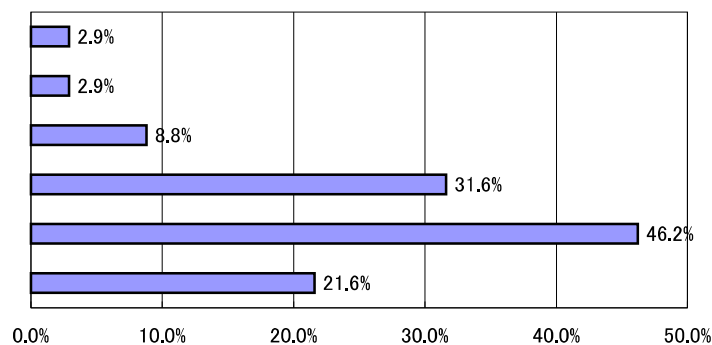
【全体的傾向】

お住まいの地域で活躍している外国籍住民を知っているかどうかについては、「知らない」が69.6%で、「知っている」「多くの方を知っている」を大きく上回っている。

問 8. 日本人の方にお聞きします。となり近所や地域での外国籍住民とのつきあいはどの程度ですか。（複数回答可）

1. 困ったときに助け合う外国籍住民がいる	5
2. 家に招いたり、招かれたりする外国籍住民がいる	5
3. 家の外で立ち話をする外国籍住民がいる	15
4. あいさつを交わす外国籍住民がいる	54
5. となり近所や地域でのつきあいのある外国籍住民はいない	79
6. となり近所や地域に外国籍住民はいない	37
回答者数	171

困ったときに助け合う外国籍住民がいる
家に招いたり、招かれたりする外国籍住民がいる
家の外で立ち話をする外国籍住民がいる
あいさつを交わす外国籍住民がいる
となり近所や地域でのつきあいのある外国籍住民はいない
となり近所や地域に外国籍住民はいない



【全体的傾向】

となり近所や地域での外国籍住民とのつきあいの程度については、「となり近所や地域でのつきあいのある外国籍住民はいない」が46.2%、「あいさつを交わす外国籍住民がいる」が31.6%と続いており、外国籍住民とのつきあいが深い日本人は少ない状況である。

問 9. 日本人の方にお聞きします。地域で外国籍住民と交流する中で感じたことをお書きください。

120名の方から回答が寄せられました。主な回答は下記のとおりです。

・ 交流したことがない（少ない）	42
・ 生活習慣、風習、文化の違い	24
・ 言葉の壁	17
・ マナーが悪い	11
・ 外国籍住民の方が交流を望んでいる（積極的）	8
・ 日本人の方が排他的になっている	8
・ 外国籍ということを特に意識していない	7

問10. 外国籍住民の方にお聞きします。浪速区で生活するうえで、どのような情報が必要だと思いますか。

2名の方から回答が寄せられました。回答は下記のとおりです。

- ・地図はもっと詳しくしてほしい。特に浪速区は街が狭いから分かりづらい。
- ・多言語での行政情報や生活情報の提供、多言語での生活相談。

問11. 外国籍住民の方にお聞きします。地域で日本人と交流する中で感じたことをお書きください。

2名の方から回答が寄せられました。回答は下記のとおりです。

- ・思っているより親切な方が多いし、周りの友達はほとんど日本人ばかりである。
- ・本音でなく、少々儀礼的で建前による言動を感じる。

問12. 全員にお聞きします。多文化共生に関して、ご意見があれば、自由にお書きください。

118名の方から回答が寄せられました。主な回答は下記のとおりです。

- | | |
|---------------------------|----|
| ・イベントなど交流の場が必要 | 26 |
| ・生活習慣、文化の違い等の相互理解、相互扶助が必要 | 21 |
| ・日本のルール、生活習慣等を理解すべき | 14 |
| ・マナーが悪い | 6 |
| ・（お互いの）言葉の理解が必要 | 6 |
| ・多文化共生は容易ではないと思う | 5 |

【3】調査結果を受けて

今回の調査結果によると、「外国籍住民に地域行事にぜひ参加してほしい（できれば参加してほしい）」や「日本人と外国籍住民がぜひ交流を深めていくべき（できれば交流を深めていった方がよい）」と回答された方の割合が約70%～85%と非常に高くなっていますが、同じ設問に対し、「地域行事に参加してほしくない」や「交流を深める必要はない」と回答された方も僅かに見られます。

また、多文化共生を推進するために区が力を入れるべき対応については、「日本人と外国籍住民との交流会やイベント」や「生活情報や地域の習慣等について知ってもらうための情報等の提供」と回答された方の割合が高くなっています。

区といたしましては、今回の調査結果を参考にさせていただき、区民の皆さんの今後より一層のご理解をいただきながら、多文化共生の地域コミュニティづくりの推進に向けた施策を推進してまいりたいと考えています。